

2020年8月25日

福島県教育委員会  
教育長 鈴木淳一 様

福島県立高等学校教職員組合  
執行委員長 齋藤 毅

### 学校における新型コロナウイルス対策に関する要求書(第4次)

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナという)の拡大に対する貴職・県教委のご尽力に敬意を表します。

最近のニュースでは学校での感染がさかんに報道されています。文部科学省は、すべての大学に対して、受験生が罹患した場合の受験機会を確保するように要請しています。就職を希望する生徒にとっても、就職試験は大変重要な機会ですから、大学入試と同様の対応が求められます。

就職試験の時期が迫りつつある今、新型コロナ感染が生徒の就職の機会を奪うことのないように関係者一同の努力が求められています。

2009年の新型インフルエンザ流行の際には、教育長と校長会長、労働局長の連名で、企業に「就職試験の際のり患者に対する弾力的な運用」を依頼した実績があり、生徒を試験に送り出す学校現場では大変喜ばれたことが、記憶に残っています。

また、教員採用試験受験者にとっても、新型コロナに感染したことにより採用試験を受験できないことは大きな不安です。本県の教育に携わりたいとの思いで志願した優秀な教員の受験機会を奪ってはなりません。さらに、代替日がなければり患者が無理して受験するなどして感染が拡大することも懸念されます。

以上のことをふまえ、次のことを要求します。

- 1 就職試験を受ける予定の生徒が新型コロナに感染した場合、企業が当該生徒を別日程で受験可能にするなどの弾力的な対応をとるよう、県教委、校長会、労働局が協力して、企業や関係機関に要請すること。
- 2 急ぎ、公立学校教員採用候補者選考試験二次試験受験者に対し、コロナに感染した場合の代替受験日を設定すること。